



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社データ・アプリケーション 上場取引所 東
 コード番号 3848 URL https://www.dal.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 安原 武志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画管理本部長 (氏名) 金子 貴昭 TEL 03-6370-0909
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	548	31.2	78	—	89	—	58	—
2021年3月期第1四半期	418	△18.4	△45	—	△35	—	△25	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 105百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △32百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	19.21	—
2021年3月期第1四半期	△8.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,766	3,648	76.5
2021年3月期	4,626	3,672	79.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 3,648百万円 2021年3月期 3,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,140	5.7	210	1.5	215	△1.8	155	△6.6	51.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、[添付資料] P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	3,707,000株	2021年3月期	3,707,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	682,409株	2021年3月期	682,409株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	3,024,591株	2021年3月期1Q	3,012,899株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により緊急事態宣言が発令されたことをきっかけに、個人消費が大幅に減少いたしました。今後、ワクチン接種者の増加に併せて、経済活動が回復することが期待されるものの、感染動向と景気回復のペースは依然として不透明な状況が継続しております。

この経営環境下、当社グループは2021年5月13日付で、持続的な成長と更なる企業価値の向上を目指し、「変革への挑戦」を中期ビジョンに掲げた新たな中期経営計画を発表いたしました。

当中期経営計画では、「DX(デジタルトランスフォーメーション)をはじめとした新たな市場開拓」「既存事業の周辺市場への展開」「リカーリングビジネスの推進」「優秀な人材の採用・育成」の4つ基本方針を推進することで、データ・インテグレーションの領域においてリーダーとなり、企業のDXに大きな貢献を果たしたいと考えております。

中期経営計画の初年度となる当期は、新しいサービス・価値を提供し続けることを目標に「新規ビジネス:DX実現への挑戦」「既存ビジネス:リカーリングビジネスの推進」「コストの最適化(戦略的投資)」「企業力強化」を4つの重点施策として推進しております。

当第1四半期連結累計期間は、組織体制を強化し、市場拡大を目指すため、戦略製品の市場への訴求による既存ビジネスの深耕に加え、営業部門の再編によりDX営業活動の強化、製品のサブスクリプションでの提供等を実施してまいりました。これにより、2021年6月単月のサブスクリプション売上高は、2021年3月単月の売上高の19.3%増まで伸張いたしました。また、開発面では、既存ソフトウェア製品の機能強化・改善等を継続実施するとともに、技術探求室を中心に新技術の探求、戦略製品のバージョンアップ等を行っております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高548百万円(前年同四半期比31.2%増)、営業利益78百万円(前年同四半期は営業損失45百万円)、経常利益89百万円(前年同四半期は経常損失35百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益58百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失25百万円)となりました。

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであり、売上区分別の状況は、次のとおりであります。

① ソフトウェア

売上高総額は、134百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

これは、前期減収の要因となったEDI系製品の販売が好調であったことが主な要因であります。

② リカーリング

売上高総額は、412百万円(前年同期比42.0%増)となりました。

これは、サブスクリプション売上が堅調に推移したことに加え、前連結会計年度に実施した会計方針の変更により、当第1四半期連結累計期間に認識したメンテナンス売上が前年同期比で91百万円増加したことが主な要因であります。

③ サービスその他

売上高総額は、1百万円(前年同期比85.6%減)となりました。

これは、ソフトウェア製品販売に付随するサービスの提供や通信機器の販売等が減少したことが要因であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産の残高は、前連結会計年度末に比べ140百万円増加して4,766百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加104百万円、売掛金の減少38百万円、その他流動資産の増加3百万円、投資その他の資産の増加67百万円によるものです。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ165百万円増加して1,118百万円となりました。これは主に、前受金の増加197百万円、未払法人税等の増加1百万円、賞与引当金及び役員賞与引当金の増加19百万円、その他流動負債の減少72百万円によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ24百万円減少して3,648百万円となりました。これは、利益剰余金の減少71百万円、その他有価証券評価差額金の増加47百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高、利益ともに前年同期を上回り、安定した水準で推移しており、現時点では、2021年5月13日に公表しました業績予想値に変更はありません。

当社グループは、中期経営計画の達成を目標に、当期は新しいサービス・価値を提供し続けることを目標に、組織体制を強化し市場拡大を目指すため、「新規ビジネス：DX実現への挑戦」「既存ビジネス：リカーリングビジネスの推進」「コストの最適化（戦略的投資）」「企業力強化」を4つの重点施策として推進し、開発・営業活動、投資を継続して積極的に実施してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きの見通せない状況が更に続いており、不確定要素が多く、想定を超えた変化等が生じた場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性など、業績予想はリスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化によって予想値と異なる結果になる可能性があります。

第2四半期以降における、新型コロナウイルス感染症以外の主な事業上のリスクは次のとおりです。また、下記項目以外の事業等のリスクにつきましては、当社が公表した有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。なお、業績に影響を与える要因は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではありません。

① パートナーモデル（間接販売）への依存について

当社グループは、幅広い顧客ニーズにきめ細かく応えるため、システムインテグレーター等のパートナーとの協業によって、製品を販売しております。そのため、パートナーとの関係が悪化した場合、競合会社が当社グループのパートナーと戦略的提携を行った場合、パートナーの財政状態が悪化した場合などが生じた際には、当社グループの経営成績及び財政状態等に影響を与える可能性があります。

② 財政状態及び経営成績の変動に関わるものについて

当社グループを含めたパッケージソフトウェア事業の特徴として、経費全体に占める人件費等の固定費割合が高く、変動費割合が低いことがあります。そのため、売上高が増加した場合の増益額が大きい一方、売上高が減少した場合の減益額も大きく、利益の変動が生じやすい傾向にあります。また、パートナーとの間接販売であることから、秘匿性の高い案件を事前に察知することが困難な場合があり、公表している業績予想との乖離を生じさせる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,460,713	3,565,019
売掛金	190,474	151,852
その他	48,089	52,067
流動資産合計	3,699,276	3,768,939
固定資産		
有形固定資産	188,747	184,200
無形固定資産	14,557	22,247
投資その他の資産	723,668	791,563
固定資産合計	926,973	998,010
資産合計	4,626,250	4,766,949
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,502	34,730
未払法人税等	32,547	34,357
前受金	557,156	754,585
賞与引当金	—	16,530
役員賞与引当金	—	3,223
その他	241,644	169,614
流動負債合計	866,851	1,013,042
固定負債		
資産除去債務	54,123	54,147
リース債務	31,031	29,438
繰延税金負債	1,308	22,124
固定負債合計	86,463	105,710
負債合計	953,315	1,118,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,895	430,895
資本剰余金	346,816	346,816
利益剰余金	3,419,517	3,347,570
自己株式	△593,314	△593,314
株主資本合計	3,603,914	3,531,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,019	116,229
その他の包括利益累計額合計	69,019	116,229
純資産合計	3,672,934	3,648,196
負債純資産合計	4,626,250	4,766,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	418,086	548,565
売上原価	122,254	165,186
売上総利益	295,831	383,379
販売費及び一般管理費	341,411	305,191
営業利益又は営業損失(△)	△45,579	78,187
営業外収益		
受取配当金	1,495	6,576
助成金収入	8,371	4,497
その他	36	—
営業外収益合計	9,902	11,073
営業外費用		
支払利息	36	30
雑損失	114	—
営業外費用合計	150	30
経常利益又は経常損失(△)	△35,827	89,229
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△35,827	89,229
法人税等	△10,807	31,119
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,019	58,110
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,019	58,110

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,019	58,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,636	47,209
その他の包括利益合計	△7,636	47,209
四半期包括利益	△32,655	105,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,655	105,319
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。

当社グループは、これらの見積りは合理的であると考えておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、想定を超えた変化等が生じた場合、当社グループの連結財務諸表に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	売上区分			合計
	ソフトウェア	リカーリング	サービスその他	
一時点で移転される財又はサービス	114,486	—	9,915	124,401
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	290,435	3,250	293,685
顧客との契約から生じる収益	114,486	290,435	13,165	418,086
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	114,486	290,435	13,165	418,086

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	売上区分			合計
	ソフトウェア	リカーリング	サービスその他	
一時点で移転される財又はサービス	134,131	—	1,892	136,023
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	412,542	—	412,542
顧客との契約から生じる収益	134,131	412,542	1,892	548,565
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	134,131	412,542	1,892	548,565

(重要な後発事象)

該当事項はありません。